公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース
第140号　　2026年11月18日　発行

交流から地域づくりへ ― 能登の多世代交流と新たな挑戦 ―

公益社団法人　石川県作業療法士会　会長　米田　貢
（金沢大学）

このたび、石川県作業療法士会が取り組む「能登の多世代交流による未病予防・キャリア教育モデルづくり」が、公益財団法人日本生命財団（ニッセイ財団）の2026年度「高齢・地域共生社会地域福祉チャレンジ活動助成」に採択されました。助成期間は、2026年10月から2028年9月までの2年間です。

10月6日には、志賀町応急仮設住宅とぎ第8団地内マルチルームで、助成金贈呈式とキックオフミーティングが開催され、行政、社会福祉協議会、高等学校の教諭・生徒などの関係者と、今後の活動の方向性を共有しました。

当会は、2021年から「世代間交流による高齢者の生活向上プロジェクト」に取り組んできました。中高生と高齢者が交流し、スマートフォンの活用や脳活プログラムなどを一緒に行うことで、デジタルデバイドの解消や外出・社会参加のきっかけづくりを進めるとともに、中高生が高齢者の話を聞き、地域の暮らしや福祉について学ぶ機会をつくってきました。2024年の能登半島地震後は仮設住宅にも活動の場を広げています。これまで支えてくださった地域、学校、行政、関係機関、そして会員の皆さまに改めて感謝申し上げます。

震災からの復旧が進む中、私たちも、作業療法士の立場から、能登の復興に少しでも力になりたいと考えています。ただ、交流会を一時的なイベントとして続けるだけでは十分ではありません。今回の助成を機に、これまでの活動をそれぞれの地域の課題やニーズに応じて見直し、地域に本当に必要とされる取り組みへ育てていきたいと考えています。

高等学校との連携では、「探究の時間」などを活用し、高校生自身が地域の課題を考え、活動につなげていく過程を伴走支援します。また、行政や社会福祉協議会などとも地域課題を共有し、私たちの提案を一方的に届けるのではなく、ともに考え、必要に応じて連携しながら実践していきます。

大切なのは、事業を実施することそのものではなく、その先に地域にどのような変化が生まれ、何が残るのかということです。活動を通して、地域の新たな課題や強みを見つけ、そこで暮らす人々のより良い生活や地域の将来につなげていきたいと思います。

この活動の先に、地域に何が残るのか。そのことを会員の皆さんとも一緒に考えながら、2年間の取り組みを進めていきたいと思います。



キックオフミーティングでの活動検討



贈呈式　2026年10月6日志賀町応急仮設住宅とぎ第8団地内マルチルームにて

厚生労働大臣表彰受賞者のご挨拶

恵寿総合病院　進藤　浩美



このたびは、厚生労働大臣表彰を賜り、誠に光栄に存じます。1981年に作業療法士となり、1983年『石川県作業療法士会設立』を経験し、1993年念願の法人化『社団法人石川県作業療法士会設立』業務を行ったのが理事としてのスタートでした。2014年『公益社団法人石川県作業療法士会設立』、会長を8年、あの頃、“目指せOT 1,000人時代”をスローガンに、10人ほどの会員が、800人を超えた時にはとてもうれしかったのを覚えています。1,000人には届きませんでしたが、これから誰も経験していない新しい時代の中で、私もITリテラシーを高め、AI&ロボットとの共存を学び、作業療法に出会ったことに感謝し、“人は作業で元気になる”、を実践してまいりたいと思います。この度は、本当にありがとうございました。

青山彩光苑　今寺　忠造



この度、公益社団法人石川県作業療法士会(県士会)からの推薦を受け、厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。心より感謝申し上げます。

1981年の金沢大学附属病院着任時、県内OTは12名。金沢医療技術短期大学部1期の卒業生を待ち、発会。その後、理事・副会長・会長(8年)を務め、その間「人と地域を元気にする」をテーマに、微力ながら県風船バレーボール大会の開催、県士会法人化、学会・研修会の誘致と開催(OT学会2回、全国研修会、北陸OT学会、東海北陸OT学会等)、本の製作(住宅改修・福祉用具・介護予防・認知症予防)、地域イベント参加などに、積極的に取り組みました。

作業療法には「夢とロマン」があり、**県士会の活動には自己成長の源がある。さあ～「明るく・楽しく・前向きに」行動を開始しよう。**

日本作業療法士協会設立60周年記念式典･祝賀会参加報告

公益社団法人　石川県作業療法士会　副会長　合歓垣　紗耶香
(芳珠記念病院)



2026年9月4日、ホテルニューオータニにて日本作業療法士協会設立60周年記念式典・祝賀会が開催されました。式典では、長年作業療法の発展に寄与された34名の功労者へ厚生労働大臣表彰が授与され、当会から進藤浩美様、今寺忠造様が受賞され、大先輩のご受賞を誇らしい気持ちで拝見しました。

会場には国内省庁や関連団体の代表者が参列し、厳かな雰囲気の中にも温かさが感じられる式典でした。協会の歴史を振り返る展示では、作業療法が日本に根付くまでの歩みを改めて知ることができました。第3代会長寺山久美子氏、第5代会長中村春基氏からは未来への激励とともに、女性のマネジメント参画や学び続けられる環境整備、政治活動についてなど、現場に直結する課題が語られました。

先達の努力に思いを馳せる一方、質の担保やなり手不足など現在の課題も再認識しました。未来へ作業療法をつないでいくため、会員同士のつながりの再構築や、女性を含め誰もが学び続け成長できる支援体制づくりが重要だと感じました。60周年の節目に得た学びを、今後の士会活動に活かしてまいります。

第34回石川県作業療法学会を終えて

第34回石川県作業療法学会　学会長　永井　亜希子
（恵寿総合病院）

令和8年7月4日、七尾サンライフプラザにて「第34回石川県作業療法学会 in 七尾」を開催いたしました。本学会は「作業療法の“みかた”をひろげる ～味方として 見方を変え 診方を磨く～」をテーマに掲げ、県内外から総勢197名の皆様にご参加いただきました。

学術発表では、口述発表10演題、ポスター発表21演題の計31演題が発表され、臨床実践や部会活動など多岐にわたる内容について活発な議論が交わされました。特にポスター発表では、ポスターごとにQRコードを設置し、参加者がスマートフォンから気軽に質問やコメントを投稿できる仕組みを導入しました。発表時間以外でも双方向の交流が生まれ、発表者と参加者をつなぐ新たな学術交流の形として好評を得ました。

また、日本離床学会とのコラボ企画や教育講演、能登地域の現状と作業療法士の実践を共有するシンポジウムも開催され、作業療法士としての視野を広げる貴重な機会となりました。ご参加、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



シンポジウム


学会会場

学会長奨励賞受賞者から一言

脳梗塞発症後「娘の結婚式に着物で出席したい」という想いを実現した症例 ～退院直後の通所・訪問作業療法を通して～

介護老人保健施設　加賀のぞみ園　今井　啓介

この度は学会長奨励賞を頂き大変光栄です。利用者様の頑張る姿を多くの方に知って頂けたことが大変嬉しく思います。自分が賞を頂けるまで成長できたのは利用者様、職場の仲間、県士会の皆様、そして13年間成長を一番近くで支えて下さった中森さんのおかげです。素敵な味方に出会えたことに心より感謝いたします。

腸閉塞と誤嚥性肺炎を発症しADLが低下した筋強直性ジストロフィー患者に対する自宅退院に向けた介入

芳珠記念病院　福岡　陽羅

この度は、学会長奨励賞を頂き大変光栄に存じます。今回の発表では、自己認識が向上したことで、目標設定とADL訓練が積極的に行えるようになった事例を発表しました。患者様の意見を尊重しながらもOTとしての関わり方を学ぶきっかけとなりました。今回得た知識を活用し、より良い作業療法を提供できるよう精進してまいります。


（左から）福岡氏、永井学会長、今井氏

地元作業療法士とともに育む多世代交流
～中高生と高齢者の交流会in珠洲～

事業部担当理事　高多　真裕美
（金沢脳神経外科病院）

令和8年10月10日（土）、珠洲市宝立町にて「中高生と高齢者の交流会」を開催しました。高齢者8名、石川県立飯田高等学校1年生5名、作業療法士8名（珠洲市総合病院4名、事業部4名）、地域包括支援センターの保健師1名が参加しました。

本年度よりニッセイ財団の活動助成を受け、今回が助成事業としての初めての活動となりました。昨年度は事業部の作業療法士が中心となって運営しましたが、今回は珠洲市総合病院の作業療法士が司会や脳活プログラムを担当しました。地元の作業療法士ならではの親しみやすさと温かさが感じられ、地域に根ざした活動への発展がうかがえました。

交流では、スマートフォンやタブレットの操作支援、脳活プログラム、地域の暮らしについての会話も広がりました。高齢者からは「みんなと話せてよかった」、高校生からは「若い人も高齢者も交流しあう地域になったらいい」との声が寄せられました。

今後は、多くの県士会会員が関わる活動として、地域の関係者との協働を深め、世代を超えたつながりを育みながら、地域主体で継続できる活動へと発展させていきたいと考えています。



脳活プログラムを通じた交流会の様子



交流会参加者の集合写真

第3回キャリアアップ交流会に参加して

芳珠記念病院　新谷　唯

2026年10月9日（金）、オンラインにて第3回キャリアアップ交流会が開催され、3名が参加しました。

今回のキャリアアップ交流会では、現在臨床5年目のこともあり、先輩方に5年目の時にしていたことやしておけばよかったこと、資格取得、モチベーションを保つコツについて相談させていただきました。

今後は、研修参加を通して、知識や技術の習得に加えて他施設の方との繋がりを持つことや様々な作業（特に患者様の興味のある作業の中で、自分自身が取り組んだことのない作業）に取り組んでみようと思いました。また、研修参加を通してインプットするばかりではなく、研修で学んだことを1つでも臨床場面で行ってみることや、振り返る時間を作ることで、アウトプットし、知識や技術として習得していこうと思いました。

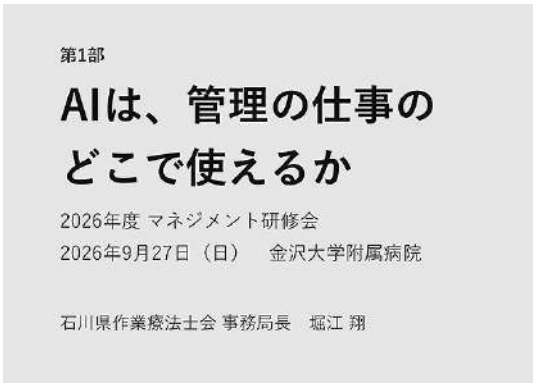
資格取得に関しては、ケアマネジャーや両立支援コーディネーターが退院支援や就労支援に役立てることをお聞きし、挑戦してみようと思いました。

先輩方に相談し、お話を聞ける貴重な機会に参加させていただき、どのように頑張っていきたいかが明確になりました。

2026年度 石川県作業療法士会 マネジメント研修会開催

公益社団法人　石川県作業療法士会　副会長　堀江　翔
（金沢大学附属病院）

9月27日（日）、2026年度のマネジメント研修会を金沢大学附属病院にて開催し、19名の方にご参加いただきました。今年度は「AIに触れましょう」をテーマとし、第1部では「AIは、管理の仕事のどこで使えるか」と題して、生成AIの基本的な使い方や管理業務での活用場面を紹介し、実際にAIを操作していただきました。第2部では、実際の会議の文字起こしをもとに、AIで内容をまとめる実践を行いました。最初は慣れない様子もみられましたが、AIにできることや簡単な応用も含めて体験することができました。研修後のランチ懇親会では、日ごろの業務や県士会活動についてなど、ざっくばらんに交流できました。各施設の管理業務にAIを取り入れるきっかけとなれば幸いです。次年度もぜひご参加ください。



研修会スライド（第1部）


ランチ懇親会の様子

「令和8年熊本地震」における支援活動報告：
能登の教訓を繋ぐロジスティクスとDX/AXの重要性

公益社団法人　石川県作業療法士会　会長　米田　貢
（金沢大学）

令和8年7月28日の熊本地震を受け、JRATによる支援活動が展開されました。石川県からは、能登の経験を活かすべくロジスタッフが派遣され、私も8月12日から17日にかけて八代地域保健医療福祉調整現地本部（八代市保健所）での後方支援に従事しました。

現地では、避難所や要支援者、環境調整等の膨大な情報が錯綜していました。私の主な役割は、活動記録や申し送りを整理･構造化し、司令塔であるリーダーの意思決定を支えることでした。災害マネジメントの原則であるCSCAに照らせば、徹底した「Assessment（情報評価）」と「Communication（情報伝達）」により「Command & Control（指揮統括）」を機能させる基盤そのものです。



支援活動の様子

今回、AIを活用した情報整理を実践したことで、避難所ニーズの可視化や遠隔からの後方支援体制におけるDX・AXの有用性を強く確信しました。能登の当時と比べても、情報処理技術は確実に進化しており、今後の災害支援のあり方を変える転換点になると実感しています。

当会としても、座学にとどまらず、現場のAXに即応できる実務的人材の育成が急務です。能登の経験を風化させず、平時からの備えへと昇華させてまいります。

～生活行為工夫情報事業、第6回コンテストについて～
一会員の小さな工夫を、会員同士で共有し、当事者の生活を変える大きな力に！

福祉機器部　副部長　本田　優介
（金沢市社会福祉協議会　金沢福祉用具情報プラザ）

当会では、令和3年度より、日本作業療法士協会の「生活行為工夫情報事業」に参加しています。本事業は、生活行為の課題を解決するため、会員が行った工夫を集積・共有するものです。福祉用具相談支援システムに登録すると、他県を含む100事例以上の工夫情報が閲覧できます。「こんな方法があったのか」といった、支援に役立つヒントが見つかるかもしれません。ぜひ全国の会員の工夫をご覧ください。

また、「生活行為工夫情報コンテスト」を開催しており、今年度で第6回をむかえます。令和5年度からは、事例投稿が日本作業療法士協会生涯教育制度の士会裁量ポイント（2ポイント）の対象です。さらに、投稿者全員に自助具製作に活用できるシリコンテープをプレゼントしています。過去に発表した事例も投稿可能です。日々のちょっとした工夫が、誰かの支援の大きなヒントになるかもしれません。経験年数や領域を問わず、多くの投稿をお待ちしています！詳細は、石川県作業療法士会ホームページをご確認ください。



石川県作業療法士会HP　福祉機器部
（福祉用具相談支援システム利用登録方法について）

生涯学修制度における登録作業療法士の取得に向けた取り組み

公益社団法人　石川県作業療法士会　副会長　教育部統括　桂　靖典
（木島病院）

2025年度より、新たに作業療法士になった会員を対象に、生涯学修制度の運用がすでに開始されています。この制度では、5年間の臨床等の研鑽が必須であり、前期研修と後期研修を修了し、MTDLP基礎研修と厚生労働省指定臨床実習指導者講習会を修了した会員が登録作業療法士を取得することができます。一方、2025年度までに作業療法士になっている会員は、2027年3月31日時点での各自の研修受講状況によって、2027年4月1日以降に登録作業療法士に読み替えることができます。自身の状況は会員ポータルサイトで確認できるので、まずは各自で会員ポータルサイトの確認をお願いします。

生涯学修制度の協会HPは
コチラ

登録作業療法士制度の
詳細はコチラから

石川県作業療法士会は、登録作業療法士の取得に向けて取り組みを行っています。生涯学修制度が新しくなったことを受け、多くの会員が現職者共通研修の修了に近付けるよう、令和3年度（会員ポータルサイトの運用開始年度）以降の各支部の事例検討会の全出席者を「事例検討」で登録し、事例報告を行った会員を「事例報告」で登録し直しました。この作業によって、10余名の会員が現職者共通研修修了に大きく近付きました。また、基礎ポイントの対象となる研修会も非常に多く開催しています。さらに、県学会では相談ブースを設け、各会員の個別相談にも応じてきました。生涯学修制度説明会も1年に2回程度オンラインで開催し、会員の制度への理解が深まるように努めています。今後も、当士会は県士会員の多くが登録作業療法士を取得できるように支援して参ります。

能登支部

恵寿総合病院　北谷　涉

のとで何でも話さん会を開催しました！



9月11日（金）に『のとで何でも話さん会』を開催しました。昨年度同様に今年度も懇親会形式での開催となりました。新人から中堅、ベテランまで、業務の進め方から後輩育成、学生指導など日頃悩んでいることを共有できました。コロナ禍や能登半島地震以降は疎遠となっていた顔の見える状況において施設間交流を行うことができ、特に今回は、急性期と回復期の連携部分で、現状どのような状況にあるのか、お互いにどのような情報があると望ましいかなどを検討できました。

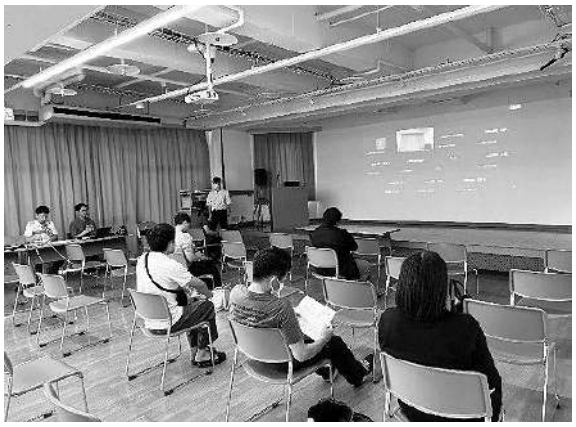
以下は参加者の感想です。

他院のOTと話す機会はなかなかないため有意義な時間となりました。他院の同期OTから仕事内容を聞いて、良い刺激をもらえて、私も日々の仕事を丁寧に頑張っていきたいと思いました。次会う時はお互いもう少し成長した姿で会えたらいいなと感じました！　（恵寿総合病院　守﨑唯）

加賀支部

片山津温泉・丘の上病院　西村　幸盛

事例検討会を開催しました！



8月9日に実施された加賀支部の事例検討会では4事例の報告があり、活発な討議やアドバイスがなされました。小児分野からは筆圧の弱い児童に対する書字練習として感覚遊びや運動入力、座位姿勢の改善を行った経過を写真にまとめた事例と、自閉スペクトラム症児の食事動作の改善のために感覚遊びを通して身体図式の発達を促した事例の発表がありました。また、老年期分野からは多様な訴えを認めるパーキンソン症候群の患者に対して興味や関心あることを足掛かりに不安の解消を図り、ADLの向上につなげた事例と、脳梗塞によりADLでの介助が重度である症例の在宅生活に際し、家族が楽観視していたことに対して症例の状態や実際の介助方法を理解してもらうことでその認識を改善していく事例の発表がありました。発表者の中には入職1年目の方もいて今後が期待されます。

同じ地域で働くOT同士顔の見える関係を作り、普段の疑問の解決や新しい知識やヒントを得る目的で行われた交流会では、経験年数別にグループ分けをして世代間交流を図る中でそれぞれの世代が持つ課題の抽出や共有が行われました。

◆◆◆令和8年度　公益社団法人石川県作業療法士会　　第13回総会　議事録◆◆◆

1. 日時：令和8年6月14日（日）10:30 ～ 11:20　　場所：KKRホテル金沢鳳凰A
2. 出席理事：米田、桂、合歓垣、堀江、中森、永井、東、酒野、加藤、鈴木、菊池、高多、市川、吉田、五十嵐（以上15名）　欠席理事：種本　出席監事：後出氏、進藤氏　議長：長原氏（県リハ）　副議長：（恵寿総合病院）　書記：濱岸（石川県作業療法士会）
議事録署名人：山本氏（金沢脳神経外科病院）釜田氏（金沢大学附属病院）を任命
議決権のある会員数：799名　出席者数：出席33名、委任状539名、書面議決書提出者数77名）

【審議事項】
＜第1号議案＞令和7年度事業報告について、米田会長より報告があった。　承認
＜第2号議案＞令和7年度収支決算について、吉田財務担当理事より報告があった。その後、後出監事より令和8年4月28日に実施した令和7年度収支決算における監査方法及びその内容と監査意見の報告がされた。　承認
＜第3号議案＞令和8年度事業計画について、米田会長より説明があった。　承認
＜第4号議案＞令和8年度予算について、吉田財務担当理事より説明があった。　承認
＜第5号議案＞定款変更について、米田会長より変更部分（6項目）の説明がされた。
定足数が3分の2以上に当たるため、定款の変更が成立した。　承認

◆◆◆令和8年度　公益社団法人石川県作業療法士会　　第2回理事会　議事録◆◆◆

1. 日時：令和8年6月14日（日）11:30 ～ 11:40　場所：KKRホテル金沢鳳凰A
2. 出席理事：米田、桂、合歓垣、堀江、中森、永井、東、酒野、加藤、鈴木、菊池、高多、市川、吉田、五十嵐（以上15名）　欠席理事：種本　監事：後出氏、進藤氏　書記：山本、濱岸
3. 議事【議決事項】

＜第1号議案＞新入会員の承認について、米田会長から新入会員44名と報告があった。　承認
＜第2号議案＞会費免除について、申請のあった9名を会費免除とする。　承認
＜第3号議案＞その他　堀江副会長から第35回石川県作業療法学会長に上野玲子氏（金沢健康財団訪問看護ステーション）を推薦。　承認
その他：進藤監事から、会員数減少がみられる。DX推進や効率化を図る中で、質の担保として会員数、登録・認定・専門OT等の数値目標を立てて理事会で抑えてほしい。また、退会者の経験年数や理由等を分析してDX推進の指標にしてほしいと意見があった。

◆◆◆令和8年度　公益社団法人石川県作業療法士会　第2回理事連絡会　議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和8年7月28日（火）　19：00 ～ 20：30　　西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席：米田、桂、堀江、合歓垣（以上会場）、高多、中森、永井、種本、東、酒野、五十嵐、吉田、菊池（理事13名）仁木、長原、西村（支部長3名）（以上Zoom）　欠席理事：加藤、市川、鈴木　欠席支部長：北谷
書記：山本（Zoom）、濱岸（会場）
3. 議事　【審議事項】

≪執行部≫ブロードリスニングの意見を報告。
・地域支援事業の全県把握・研修会企画の工夫・復職支援体制について　継続審議
≪教育部≫OTe-campus石川の運用について、研修会動画は参加費と同額を原則とし、短い時間の教材は原則無料とする。　承認
一方、謝金規定に動画作成に該当する項目がないため、検討の必要がある。　継続審議
≪事業部≫事業部の名簿の記載方法については、事業ごとに分けて記載せず、一括で記載する。　承認

◆◆◆令和8年度　公益社団法人石川県作業療法士会　第3回理事連絡会　議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和8年9月8日（火）19時～ 21時　西泉事務所およびZoom使用によるWeb会議
2. 出席：米田、合歓垣、高多、菊池、東（以上会場）、桂、中森、永井、酒野、種本、鈴木、加藤、五十嵐、吉田、市川（理事15名）、長原、仁木、北谷（支部長3名）（以上Zoom）　欠席理事：堀江　欠席支部長：西村
書記：山本、濱岸（Zoom）
3.議事【審議事項】

≪事務部≫冊子「認知症予防のヒント」の増刷・改訂の必要性については、ブロードリスニングで意見を求める。　継続審議
≪広報部≫県士会ニュース140号割付案及びCOTOT第13号割付案については内容を一部修正する。　承認
≪教育部≫講師謝金規定の修正案（動画作成等に係る謝金基準の新規設定）について審議した。事務局は、次回の理事会に規定の修正案を上程する。　承認
≪身障老年医療部≫作業療法セミナーの参加費について、予算を組みなおして再度提出してほしい。　継続審議
≪精神医療部≫11/1の研修会について　承認
≪事業部≫「キッザケア石川」体験用ユニフォームの購入について　承認
≪災害対策部≫定例の災害安否確認訓練、8月の大雨被害の状況確認を実施する。方法については事務局と再調整。　継続審議
≪執行部≫スポースフェスの中止について　承認

インフォメーション　研修会案内・県士会活動

OT e-campus石川　始動！
いつでも、どこでも、学びをつなぐ。
石川県作業療法士会の新しいオンライン学習プラットフォームがスタートしました。
詳細は、県士会ホームページをご覧ください。

https://el.ishikawa-ot.or.jp/
OTe-campus
専用サイト

OTe-campus紹介ショート動画
OTe-campus
紹介ショート動画

令和8年度 福祉機器部研修会
在宅生活に向けて福祉用具の選定をする上でOTが押さえておきたいポイント
～福祉用具選定の「なぜ？」を明日からの臨床につなげよう～
日　　時：12月6日（日）10:30 ～ 13:00
開催方法：参集とオンライン（Zoom）
会　　場：金沢福祉用具情報プラザ


講師：次年度学会長
上野玲子氏

MTDLP基礎研修会
日時：12月13日（日）9:00 ～ 17:10
教育部

5歳児健診に関する情報交換会
日時：12月13日（日）10:00 ～ 12:00
場所：金沢市教育プラザ富樫
（現地及びWebでのハイブリッド）
発達障害支援部

大学院で学んで
保健・医療・福祉、教育の
リハビリテーション関連領域の
リーダーを目指しませんか

多分野融合型の教育・研究体制
働きながら学べるオンライン遠隔講義や
昼夜開講制度、長期履修制度
授業料や奨学金制度など
経済的負担にも配慮

金城大学
KINJO UNIVERSITY
総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

詳細は本学HPを
ご確認ください

〒924-8511
石川県白山市笠間町1200番地
電話（076）276-4400（代）



石川県発の専門施設
パーキンソン病専門ホーム
PDハウス

1 専門医監修のリハビリプログラム
2 脳神経内科医による定期訪問診療
3 お看取りまで対応 24時間の訪問看護体制

北陸エリア開設一覧 ※2026年5月末時点

■ 石川県
PD ハウス白山　2018.06 OPEN
PD ハウス藤江　2023.04 OPEN
PD ハウス小坂　2018.12 OPEN
PD ハウス戸板　2023.04 OPEN
■ 富山県
PDハウス秋吉　2022.10 OPEN
■ 新潟県
PD ハウス新潟紫竹山　2024.10 OPEN

全国で56施設展開中 ※2026年5月時点
施設情報はこちら

株式会社サンウェルズ
石川県金沢市二宮町15-13（TEL:076-272-8982）
ご入居・お問合せ窓口｜まずはお気軽にご相談ください
0120-540-367
【サンウェルズ入居相談窓口】受付時間 9:00～17:00（土日祝含む）

賛助会員名簿　（順不同）

A会員
社会医療法人財団董仙会
学校法人　金城学園

B会員
学校法人　センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会　青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会

C会員
医療法人社団澄鈴会粟津神経サナトリウム
社会福祉法人恩賜財団済生会石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団千木福久会
医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
医療法人社団和楽仁芳珠記念病院
医療法人社団　竜山会　金沢古府記念病院
医療法人社団持木会　柳田温泉病院
医療法人社団　光仁会　木島病院
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
株式会社金沢義肢製作所
株式会社トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社　北陸支店
セントラルメディカル株式会社
株式会社　メディペック
株式会社　サンウェルズ

D会員
有限会社　さわやか金沢

県士会Web QRコード▶

県士会では会費ペイシステムを用いて全会員に向けてメール配信を実施しております（定期配信は毎週火曜日）。重要事項を送信することもありますので、確実にメールが受信できるように確認をお願いいたします。詳細・メールアドレス変更等については県士会ホームページをご参照ください。

会員数

会員数　842名（令和8年10月現在）　　賛助会員　41施設・企業
認定作業療法士　48名（10月現在）
専門作業療法士　 4名（10月現在）

編集後記

日々、思案していることは、作業療法の魅力をどう伝えればよいかということである。文部科学省の推計では、2024年に約106万人だった18歳人口が、2040年には約74万人になるとのことである。息子が通っている小学校卒業便りには、6年生が将来なりたい職業が掲載されており、毎年閲覧を楽しみにしているが、「YouTuber」「大工」「パティシエ」「スポーツ選手」「看護師」はよく目にするが「作業療法士」や「リハビリ」という言葉は見当たらない。作業療法士を志す学生は言う。「楽しそうだなと思ってもらえれば、中高校生は興味を持つ」と。確かにそうだが難しい。心身機能の回復に加え一人一人の生活をコーディネートするところに楽しさがある。今後も試行錯誤しながら広報していきたい。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース　年3回発行
編集担当：酒野直樹、川口朋子、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、北野早紀、竹中朋也、
仲佐東、上野玲子、小川正人、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南滉太
発 行 所：公益社団法人　石川県作業療法士会
〒921-8043　石川県金沢市西泉3丁目28-1　東和第3ビル201　Tel 076-259-0678
発 行 人：米田貢　印刷：ヨシダ印刷株式会社